

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

TWINBIRD

家庭用

湯沸かし専用

電気ケトル

TP-4481 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

日本国内100V専用

交流100V以外の電源では使用
しないでください。

● もくじ

安全上のご注意	1・2
使用上の注意とお願い	3
各部の名称とはたらき	4
使いかた	5・6
お手入れ	7・8
こんなときは	9
アフターサービス	10
仕様	

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明

は、してはいけない「禁止」の内容です。

は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

分解禁止
 発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

水ぬれ禁止
 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート・感電の恐れがあります。

禁止
 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

けがをする恐れがあります。

禁止
 乳幼児などに電源ベース接続部をなめさせないでください。

感電やけがの原因になります。

禁止
 使用中、ふきんなどで蒸気口や注ぎ口などをふさがないでください。

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

禁止
 満水目盛以上の水を入れないでください。

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

強制
 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
 ●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

注意
 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。

コンセントの単独使用
 15A以上
 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、火災・感電の原因になります。

禁止
 傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

禁止
 製品を転倒させないでください。

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

禁止
 直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、電子レンジなどに使わないでください。

火災の原因になります。

禁止
 本体や電源ベースを落としたり、衝撃を加えないでください。

過熱や異常動作、感電の原因になります。

警告

禁止
 水以外(牛乳、酒、お茶類)のものを入れてたり、水を入れて保冷用として使わないでください。

お茶・牛乳・酒・インスタント食品などを入れて使うと泡立って、ふきこぼれややけどの恐れがあります。こげつき、腐食、故障の原因になります。冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因になります。

注意
 異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・発火の原因になります。

禁止
 電源ベース中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだりしないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

注意
 電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。

禁止
 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。感電・漏電火災の原因になります。

注意

禁止
 専用の電源ベース以外は使用しないでください。また、電源ベースを他の機器などに使用しないでください。発火・故障などの原因になります。

禁止
 ふたを開けたまま湯沸かししないでください。

沸とうしても電源が切れません。

禁止
 湯沸かし中はふたを開けたり、湯や水を注いだり、移動しないでください。

湯が飛び散り、やけどの原因になります。

禁止
 本体をにおいが強いもののそばで使用・保管しないでください。

においが移ることがあります。

禁止
 不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。

火災の原因になります。

禁止
 水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使わないでください。

ショート・感電・故障の原因になります。

禁止
 壁や家具の近くで使わないでください。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。

強制
 直射日光が長時間あたる場所で使わないでください。

故障の原因になります。

強制
 お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

強制
 お手入れは冷めてから行ってください。高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

強制
 本体を持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持ってください。落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。

接触禁止
 蒸気口や注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしないでください。

やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。

接触禁止
 使用中や使用後しばらくの間は、本体とふたが高温になりますので、直接触れないでください。

やけどの原因になります。お湯が沸いたときの本体表面は、約85℃になります。

接触禁止
 ふたを開けるときにでる蒸気に触れないように注意してください。

やけどの原因になります。

禁止
 備炭炭などの炭を入れて使わないでください。

故障の原因になります。

注意
 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

注意
 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。

禁止
 空だきをしないでください。

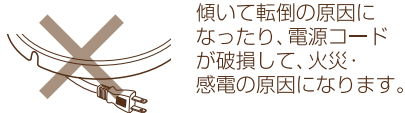
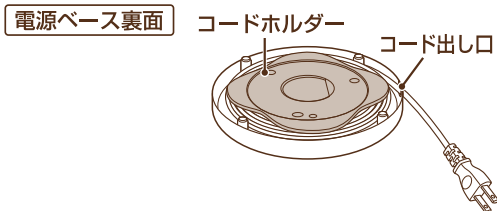
容器の熱変色など故障の原因になります。

強制
 本体は電源ベースの中央にしっかり載せてください。

転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。

⚠ 使用上の注意とお願い

- 電源コードは、コードホルダーに巻きつけて長さを調整し、電源ベースのコード出し口にはめ込んでください。



傾いて転倒の原因になったり、電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。

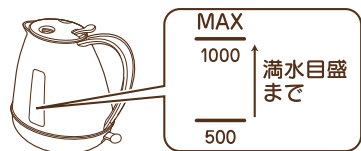
- 残り湯は捨ててください。



- 本体容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。

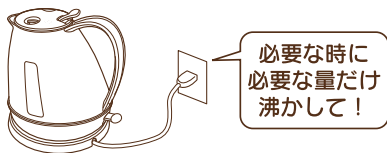
汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

- 満水目盛1000ml以上水を入れしないでください。満水目盛(約1000mlまで)



満水目盛以上水を入れると、湯がふきこぼれたり湯が出てやけどの恐れがあります。

- 本製品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

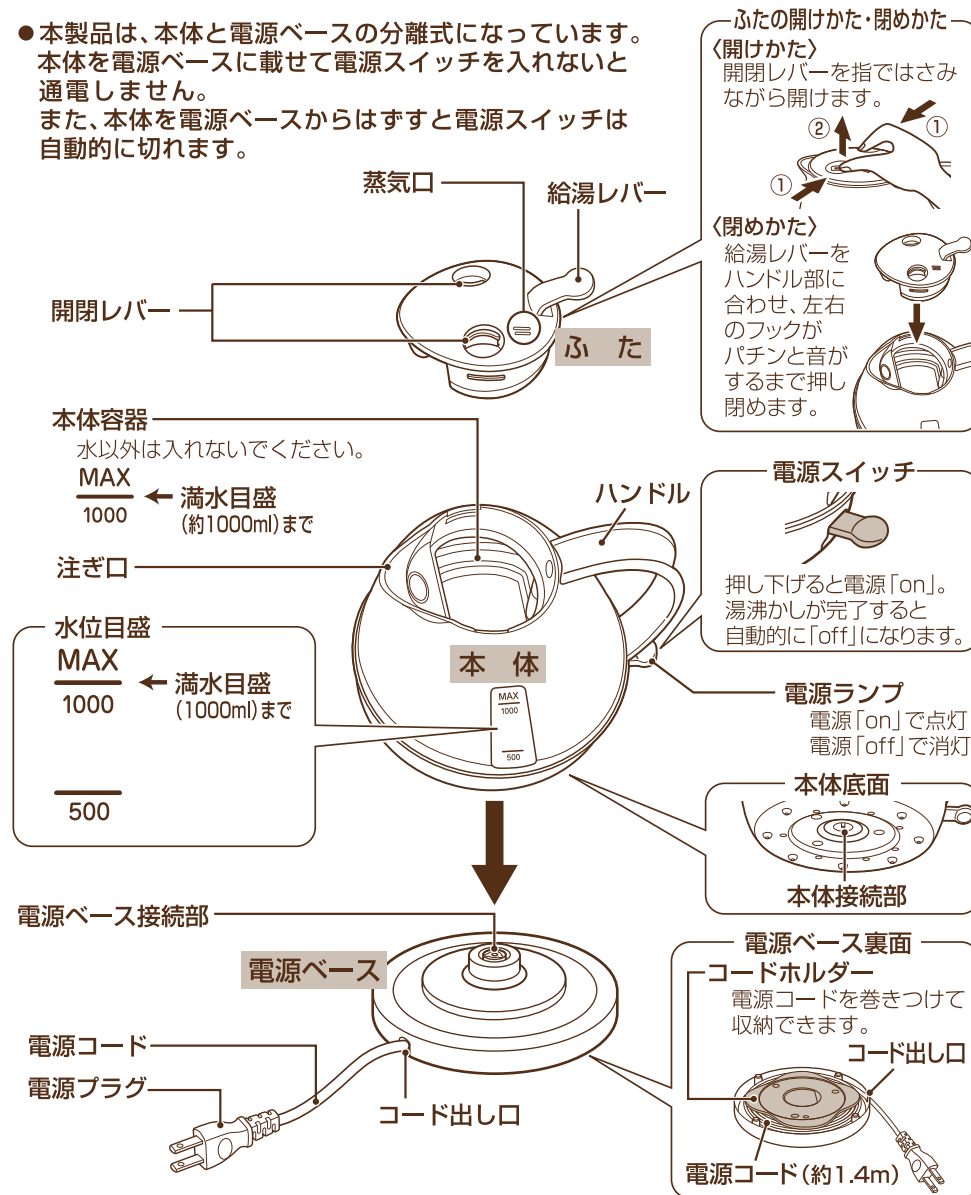


〈カラカラ音について〉

製品を動かしたときに、「カラカラ」と内部で音がする場合がありますが、弁の音です。異常ではありません。

各部の名称とはたらき

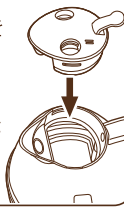
- 本製品は、本体と電源ベースの分離式になっています。本体を電源ベースに載せて電源スイッチを入れないと通電しません。また、本体を電源ベースからはずすと電源スイッチは自動的に切れます。



ふたの開けかた・閉めかた
〈開けかた〉
 開閉レバーを指ではさみながら開けます。



〈閉めかた〉
 給湯レバーをハンドル部に合わせ、左右のフックがパチンと音がするまで押し閉めます。



電源スイッチ



押し下げると電源「on」。湯沸かしが完了すると自動的に「off」になります。

電源ランプ

電源「on」で点灯
 電源「off」で消灯

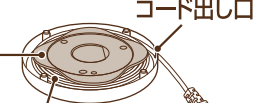
本体底面



本体接続部

電源ベース裏面

コードホルダー
 電源コードを巻きつけて収納できます。



電源コード(約1.4m)

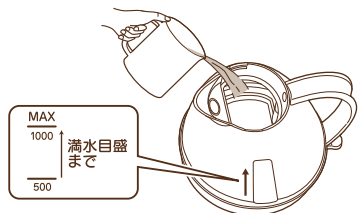
お願い

- この製品は水を沸かすためのものです。水以外は沸かさないでください。
- この製品は火にかけられません。直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、電子レンジなどに使わないでください。
- お湯を沸かすときは、必ずふたをしっかり閉めてください。

使いかた

- 初めて使うときは、事前に本体容器を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- 初めて使うときは、お湯がにおうことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になるときは2~3回沸とうさせた後、お湯を捨ててください。

1.ふたを開けて本体容器に別の容器で水を入れ、ふたを閉めます。



本体を電源ベースからはずし、別の容器で水を必要な量(満水目盛以上入れないでください。)だけ入れます。ふたをしっかりと閉めます。ふたの左右のフックがしっかりと、かかっていることを確認してください。

△注意

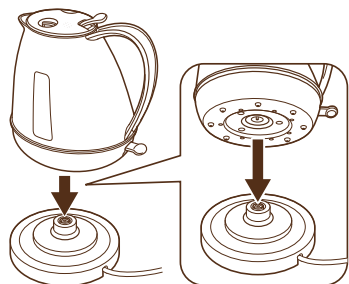
- 蛇口から直接水を入れしないでください。
- 本体やハンドルに水をかけたり、流し台に置いて底面をぬらしたりしないでください。
- 満水目盛以上水を入れしないでください。(表示は目安です。)満水目盛以上水を入れると、湯がふきこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの恐れがあります。

—空だき防止機能について—

水が入っていない状態でスイッチを「on」にすると、空だき防止機能がはたらいで自動的に電源スイッチが切れます。この場合は、本体を電源ベースからはずし、しばらく冷ましてからお使いください。

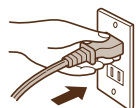
2.本体を電源ベースに載せます。

- ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。ふたをしっかりと閉めないで、沸とうしても電源が切れません。
- 電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。
- 電源ベースは水平に設置してください。



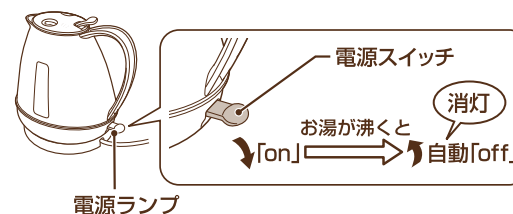
電源ベース接続部と本体接続部を合わせてセットします。セットされていないとスイッチが「on」になりません。

3.電源を接続します。



電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。

4.電源スイッチを入れます。お湯が沸いて、電源が切れます。



電源スイッチを押し下げます。電源ランプが点灯します。お湯が沸くと自動的に電源が切れます。(電源スイッチが「off」になり、電源ランプが消灯します。)

- 水が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。
- 保温機能はありません。湯沸かし完了後放置すると、お湯は冷めます。必要なときに必要な量だけを沸かしてください。

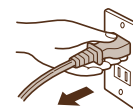
湯沸かし時間の目安(23℃の水)

- 1.0L…約6分
- 0.5L…約3分30秒

湯沸かし中に、電源を切りたいとき

電源スイッチを押し上げて「off」にします。

5.電源プラグをコンセントから抜きます。



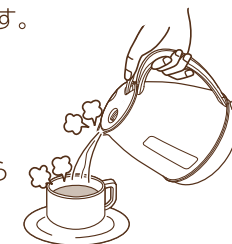
6.お湯を注ぎます。

ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。本体を電源ベースからはずします。お湯を注ぎます。



〈お湯の注ぎかた〉

給湯レバーを押し下げながら注ぎます。



7.使用後は

残り湯を捨てて、本体容器内を空にしてください。

お願い

- 本体容器にお湯を残さないでください。放置すると変色・腐食・においの原因になります。
- ご使用後はお手入れしてください。本体容器はこまめにお手入れしてください。

お手入れ・・・日常、こまめにお手入れをしてください。

お手入れは、必ず電源プラグを抜き、残り湯は捨て、製品が冷めてからしてください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、漂白剤、化学ぞうきん、たわしなどは使わないでください。



本体外側・ふた・電源ベース

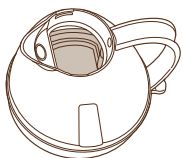


よくしぼったふきんなどでふき取ります。

△注意

水洗いはしないでください。
感電事故の原因になります。

本体容器



容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、水ですすぎます。

△注意

本体外側やハンドル部に水をかけないでください。

- 容器の変色やおいひの原因になるので、残り湯は捨てて、こまめにお手入れしてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水(ミネラル分を多く含む水)を沸かしたときは、ミネラル分が付着しやすいため、よりこまめにお手入れしてください。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸で洗浄してください。(8ページ)

ミネラル成分について

長く使用していると、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が容器に付着して次のようになることがあります。

- 白い浮遊物が浮く ● 乳白色、黒点、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび) ● ざらつき

ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯沸かし中の音が大きくなる原因になります。
付着したミネラル成分がはがれて、本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因になります。

長期間使わないとき

お手入れの後、容器や各部を十分に自然乾燥させてください。
虫やホコリなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管してください。

〈クエン酸洗浄のしかた(1~3ヶ月に1回が目安)〉

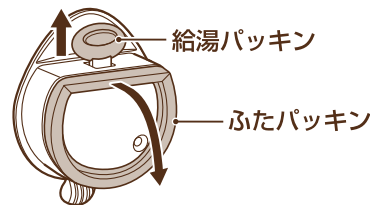
洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。

- ① 本体容器にクエン酸、約30gを入れます。
- ② 水を満水目盛(約1000ml)まで入れて沸かします。お湯は入れないでください。
- ③ 沸とう後、約1時間放置します。1時間以上放置しないでください。
- ④ 電源プラグとふたをはずしてお湯をすてます。
- ⑤ やわらかいスポンジで汚れをこすり落とし、よくすすぎます。
- ⑥ 汚れが落ちにくいときは、再度クエン酸を入れて同じ操作をしてください。
- ⑦ クエン酸のにおいをとるために、水だけで通常どおりに再び湯を沸かし、ふたをした状態でお湯をすてます。

〈パッキンの取り替えかた〉

パッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。損傷している場合は、新しいパッキンと交換(有償)してください。
交換の際は、製品の品番をご確認のうえ、製造元「お客様サービス係」までパッキンをお求めください。

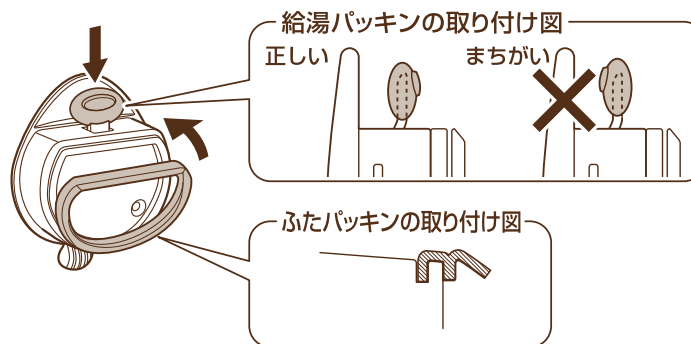
取りはずしかた



ふたからふたパッキンと給湯パッキンをはずします。

取り付けかた

- 給湯パッキン・ふたパッキンは、必ず正しく取り付けてご使用ください。正しく取り付けないと沸とうが止まらなかったり、蒸気が漏れたりする恐れがあります。
- ふたパッキンは、外周がまんべんなく均等になるように押さえて、ふたの外周とふたパッキン内側の溝をぴったり密着させてください。



こんなときは

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	調べるところ	処 置
湯がわからないとき。	電源スイッチつまみが「off」になっていませんか？	電源スイッチつまみを「on」にしてください。
	電源ベース接続部に本体接続部がきちんと差し込まれていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せてください。 (5ページをご覧ください。)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源スイッチが入らない。	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せてください。 (5ページをご覧ください。)
沸とうが止まらない。	ふたが閉まっていますか？ ふたがしっかり閉まっていないと沸とうしてもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。 (5ページをご覧ください。)
沸とうする前にスイッチが切れる。	空だきしていませんか？ 空だき防止機能がはたらいて、スイッチが入りません。(5ページをご覧ください。)	
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る。	満水目盛以上の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 (5ページをご覧ください。)
湯に白いものが浮く。 本体容器内が汚れている。 壁面がはがれたように見える。	水アカが本体容器に付着していませんか？ ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。	本体容器をお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
湯沸かし時の音が大きくなる。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
お湯が出ない。 出にくい。	本体容器・注ぎ口・ふたパッキン・蒸気口に水アカなどがついていませんか？	本体容器・注ぎ口・ふたパッキン・蒸気口のお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
使用後しばらくすると音がする。	熱せられた部品の冷める音です。 故障ではありません。	
ハンドルの下や底から水滴がたれる。	満水目盛以上の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 (5ページをご覧ください。)
	蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。蒸気が本体の底やハンドルの下から水滴となつてたれることがあります。故障ではありません。	
お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。 初めて使うとき、しばらく使っていなかったときは樹脂などのおいが移ることがあります。 ご使用とともに少なくなります。 においが強いもののそばで使用・保管していませんか？ お湯においが移ることがあります。 ビニールシートなどのナイロンの上で使っていないですか？ お湯においが移ることがあります。	

アフターサービス

1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- この電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

お客様サービス係


☎(フリーダイヤル) 0120-337-455
FAX (0256) 93-1077
お電話承り時間：平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕 様

電 源	AC100V 50-60Hz
定 格 消 費 電 力	1200W
容 量	約1000ml
製 品 寸 法 (約)	幅180×奥行150×高さ220mm(電源ベース含む)
製 品 質 量 (約)	930g(電源ベース部含む)
電 源 コ ー ド(約)	1.4m

- 特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくお避けください。
- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

★長年ご使用の電気ケトルの点検を！	
 <p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p>	<p>●水もれする。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。●蒸気が10分以上出続け、電源スイッチが切れない。●その他の異常・故障がある。</p>
<p>ご使用中</p>	<p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。</p>